ハイパーセル Hyper Cell
NETIS HK-200013-A

施工報告書

工事名　H21 大沢地区代替地整備工事の内　法面保護工

発注者：関東地整　ヤンバダム建設事務所
施工者：小林建設工業㈱
施　工：平成 23 年 3 月 20 日頃
法面勾配：　9 分～1 割
使用資材：HyP08-100-25（M-100）
撮影日：平成 23 年 4 月 26 日

発注者指定型（NETIS 利用）
指定理由：ダム代替地なので、“緑化”が必要だが、法面勾配が 1 割強と急勾配なので、客土（覆土）が降雨や風で浸食を受ける恐れが多く、且つ、勾配変化や法長も変化しているので、他工法では品質の確保が難しいとの判断による。（工事係長の談）

降雨高度は以下のアメダス地点から。

平成 23 年 4 月 19 日	合計	最大	
		1 時間	10 分間
草津	40.5	7.0	2.0
中之条	24.0	5.5	1.5
平均	32.3	6.5	1.8

以下の写真は、平成 23 年 4 月 19 日の強雨のあとです。

降雨後の全体浸食状況



降雨後の天端部浸食状況

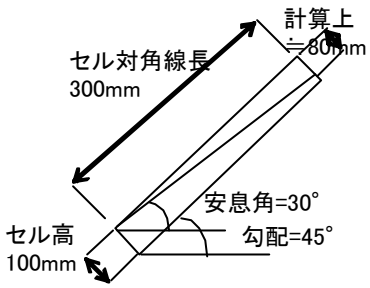


降雨後の法面部浸食状況



考察："痩せ“深＝セル対角線長xtan（勾配－安息角）
＝300mm x tan(45° －30°)≒80mm
実際は、かなりの強雨の後でも、ハイフレームの“拘束力”で痩せ深は 20mm程度で、効果は実証された。

粘性土系を充填すれば、粘着力等で“痩せ量は軽減できる。
又、種子吹付工を併用して、早期緑化を促すことの有効である。



GeoVector